

第3回ASEAN+3エネルギー大臣会合議長声明
(ポイント)

1. 本大臣会合は、成功裏に開催。
2. 我々は主要なエネルギー課題について議論。
3. 国際エネルギー機関（IEA）による、世界のエネルギーの傾向、技術の役割、及び高エネルギー価格の影響プレゼンテーションを歓迎。また、省エネルギー及びエネルギー効率の改善が現在の深刻な状況に打ち勝つ最も効果的なツールの一つであることを認識し、省エネルギーに関するIEAのイニシアティブを歓迎。さらに、我々は、「アジア省エネルギープログラム」に関する日本の情報提供を歓迎。
4. 緊急時対応措置の中でも石油備蓄の重要性が高くなっていることを認識。日本とベトナムが共同して実施したベトナムにおける石油備蓄に関する研究成果を尊重し、フィリピン、タイ、及びベトナムが国家石油備蓄プログラムの作成に向けて次のステップを踏むことを期待。また、中国が国家石油備蓄プログラムを順調に実施していることを歓迎。
5. 昨年のASEAN+3サミットにおいて表明された我々のリーダーの意図を認識しつつ、我々は、石油代替燃料、特に再生可能エネルギーの重要性に留意。また、各国の経験や専門知識を考慮しつつ、再生可能エネルギーに関する研究開発や活用を促進する共同研究の追求に合意。また、日本の再生可能エネルギーに関する人材育成協力プログラムがASEAN+3の緊密に協力しながら実施されることを期待。
6. 石油の消費地域として、石油の産消国双方にネガティブな影響を与える高く変動性がある石油価格への懸念を表明し、相互理解と相互依存を目指して中東の石油生産国との対話を持つことを提案。
7. 我々は、エネルギー安全保障の促進におけるエネルギー憲章条約の役割を認識。
8. 我々は、天然ガスは重要な代替エネルギー源の一つであり、ASEANは大きな供給可能性を持っていることを認識しつつ、幅広い議論がガスの生産国及び消費国の双方にとって非常に利益があるという理解を共有。
9. 我々は、バイオ燃料プログラムのエネルギー安全保障における取組の中で大きな可能性があることを認識。
10. 我々は、石炭に関連する事項（クリーンコールテクノロジーを含む石炭の効率的利用、石炭貿易、石炭利用における規制や環境懸念）を議論するASEAN石炭フォーラムの活動を支援することに合意。
11. 我々は、ASEAN+3エネルギー安全保障通信システムが成功裏に開発されてきたことを歓迎。